

廃木材よ…よみがえれ！！

廃木材には「マテリアルリサイクル」により与えられる使命がまだあります。



廃木材の利活用、このままでいいのでしょうか？

現在、廃木材の利活用について議論される際に、常に話題の中心になるのがバイオマス発電を中心とした「エネルギー利用」です。再利用することが出来ない廃棄物をエネルギーに還元することは非常に有効な活用法であると言えます。

しかし、「エネルギー利用」する前に、今一度考え直して下さい。

その廃木材は「マテリアルリサイクル」が出来るのではないのでしょうか？私達東京ボードグループは皆様とともに「マテリアルリサイクル」の手助けをさせていただきます。そして共にCO₂削減を図り、地球環境をより良いものへと改善していきましょう！木々に永遠の命を与えたい…。それが東京ボードグループの使命です！！



東京ボード工業株式会社
本社 〒136-0082 東京都江東区新木場2-11-1 TEL:03-3522-4138 FAX:03-3522-4137
新木場工場 〒136-0082 東京都江東区新木場2-12-5 TEL:03-3522-1524 FAX:03-3522-1525
埼玉工場 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地 TEL:048-996-4541 FAX:048-996-4562
横浜エコロジー株式会社
〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦1-4-2 TEL:045-778-1153 FAX:045-778-1154
ティー・ビー・ロジスティックス株式会社
〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地 TEL:048-994-1311 FAX:048-994-1315
TB関西物流株式会社
〒630-8452 奈良県奈良市北之庄西町1-6-11 TEL:0742-50-6222 FAX:0742-50-6667

私達は
地球温暖化防止に
全力で取り組みます

「とうきょうさんぱい」

通巻第四一六号

令和七年五月一日

発行人 鈴木宏和

発行人 一般社団法人 東京都産業資源循環協会

とうきょう さんぱい

第42巻第2号 通巻第416号
416
令和7年5月1日発行

DX 推進事業など協会要望事項が予算化 東京都 令和7年度予算

- 中和・脱水分科会 LCAオンラインセミナーを開催
- 医療廃棄物委員会 施設見学研修会 [エム・エム・プラスチック(株)]
- 中間処理委員会 オンラインセミナー「サーキュラーエコノミーとは？」
- 2024年の安全衛生活動の現状調査集計結果
- 東京都環境公社 「産廃エキスパート」・「産廃プロフェッショナル」の令和6年度の認定の報告と令和7年度の募集について



CONTENTS

**DX 推進事業など協会要望事項が予算化
東京都 令和 7 年度予算** 2

中間処理委員会〈中和・脱水分科会〉
LCA オンラインセミナーを開催 4

医療廃棄物委員会
施設見学研修会 [エム・エム・プラスチック(株)] 6

2024 年の安全衛生活動の現状調査集計結果 9

中間処理委員会
オンラインセミナー「サーキュラーエコノミーとは？」 12

東京都環境公社 優良性認定評価室より
**「産廃エキスパート」・「産廃プロフェッショナル」の
令和 6 年度の認定の報告と令和 7 年度の募集について** 14

青年部だより レゴ®ブロックを用いた研修会を開催 22

理事会・委員会報告 第 96 回理事会、法制度検討委員会、人材確保プロジェクト、
安全衛生推進委員会、中間処理委員会、建設廃棄物委員会 24

新入会員紹介 [正会員] (株) 富山環境整備 27

広告 (株) 京葉興業 (正会員) 28

Tea Break 和製洋食「とんかつ」の発祥 29

身近なヒヤリ・ハット事例 Part 189 30

協会の主な今後の日程 31

事務局だより・編集後記 32

表紙の言葉 26

Recycle Quality
地球にやさしい燃料を作っています。
廃棄物処理を通じてSDGsの実現に貢献。

廃棄物を 100% 資源に

■廃棄物の再資源化(産廃・一般廃)
化石燃料使用の削減を図るため、廃棄物から RPF(固形燃料)、
フラブ燃料を作り出す再資源化を推進します。

■プライベートパースの設置
陸送よりも CO2 排出の少ない船舶輸送を推進します(モーダルシフト)。

■埋立ゼロを目指して
廃棄物の 100%リサイクルにより、サステナブルな循環型社会を目指します。

有明興業株式会社
ARIAKE KOUGYO CO.,LTD.

東京都 産廃エキスパート 優良認定業者

●若洲工場：東京都江東区若洲 2-8-25
●リサイクルポート：東京都江東区若洲 2-8-17
●京浜島工場：東京都大田区京浜島 3-3-14
●市原工場：千葉県市原市玉前西 2-9-1
●八丈島事業所：東京都八丈島八丈町大貫 8316-1

本社：〒136-0083 東京都江東区若洲 2-8-25 TEL：03-3522-1911 FAX/03-3522-1919 http://www.aknet.co.jp/

**環境負荷を低減し、
よりクリーンな社会へ**

※わたしたちのとりくみ

- 資源を再生する
- 省エネを実行する
- 省燃費で運転する
- 会社周辺の環境を整備する
- グリーン購入を心がける

※事業内容

- 産業廃棄物処分業(コンクリート塊 破砕 2,040t/日)
- 産業廃棄物収集運搬業(保管破砕を含む)
産業機器(特選、高圧釜、鉄さい)
- 積替(上記以外に産油、高圧釜、空筒くず、ガラス、コンクリート塊破砕くず、破砕じん、破砕きり)
- 一陸上運搬はもちろん、海上運搬も
- 汚染土壌の陸上海上輸送 ●再生砕石、再生砂散売

日栄産業株式会社
～リサイクルポートの活用で資源の再生利用を促進～

〒143-0003 東京都大田区京浜島 3丁目5番2号
TEL.03-3790-7400 http://nichiei-sangyo.jp

東京都 産廃エキスパート

TEL.03-3790-7400 FAX.03-3790-7401
TEL.03-3790-7402 FAX.03-3790-7403
TEL.03-3790-7404 FAX.03-3790-7405
TEL.03-3790-7406 FAX.03-3790-7407
TEL.03-3790-7408 FAX.03-3790-7409
TEL.03-3790-7410 FAX.03-3790-7411

収集運搬 6-22-80022
中間処理 6-22-00027

DX 推進事業など協会要望事項が予算化 東京都 令和7年度予算

令和7年度東京都予算に関する知事要望として「資源循環、脱炭素のDXに関する助成金の継続について」等5項目を要望しておりましたが、令和7年度予算における対応として小池東京都知事より回答があった内容について紹介いたします。（要望事項全文は機関誌第413号（令和7年2月1日）参照）

これらの事項については令和7年3月、東京都議会において予算案が可決・成立し、予算化されました。各事業の具体的な内容については、今後、事業の詳細が明らかになり次第、追ってご報告いたします。

（専務理事 鈴木 研二）

【要望】 資源循環、脱炭素のDXに関する助成金の継続

【対応】 資源循環・廃棄物処理のDX推進事業

7年度 2.3億円（6年度 2.3億円）

- ・ 都は、産業廃棄物処理業界のBPX促進に向けた補助事業により、最先端の技術を活用した新たなビジネスモデルの構築に向けて、しっかりと後押ししていく。
- ・ 今後とも、優れた取組や創意工夫を業界全体に広げ、サーキュラーエコノミーへの転換を加速していく。

【要望】 再資源化事業等高度化法とその影響等に関する都との情報共有

【対応】 産業廃棄物処理業の循環経済移行促進事業

7年度 0.4億円（6年度 0.8億円）

高度再資源化設備導入促進事業 7年度 1.9億円（新規）

- ・ 都は、国の動向を注視するとともに、資源循環の推進・循環経済への移行促進に向け、業界との情報共有と意見交換に一層努めるとともに、都内の静脈産業が適切に対応できるよう新たな仕組みを検討していく。
- ・ また、今年度から産業廃棄物処理業の循環経済移行促進事業を開始し、再生品活用等のコーディネートに着手するなど、サーキュラーエコノミーへの移行に向けた取組を推進していく。

【要望】 産業廃棄物処理施設群のための用地確保

【対応】 高度再資源化設備導入促進事業（再掲）

7年度 1.9億円（新規）

- ・ 今後、再資源化事業等高度化法の動向を注視しながら、処理プロセスの高度化に意欲を持つ事業者を支援し、サーキュラーエコノミーへの移行を実現していく。

【要望】 再生骨材コンクリートの利用促進等

【対応】 産業廃棄物処理業の循環経済移行促進事業

7年度 0.4億円（6年度 0.8億円）

建設副産物再利用促進事業 7年度 0.2億円（6年度 0.2億円）

- ・ 再生骨材コンクリートについては、JISマーク表示認証製品を製造している工場から選定することが必要であり、国の基準に従った取扱いをしていくとともに、国の動向を注視していく。
- ・ 公共工事での使用推進については、都は、環境物品等調達方針に再生骨材コンクリートを位置づけ、関係局からなる建設副産物対策協議会を通じて利用促進を図るなど、引き続きリサイクル推進に努めていく。

中間処理委員会〈中和・脱水分科会〉

LCAオンラインセミナーを開催

中間処理委員会の中和・脱水分科会（柳澤 正人 リーダー）は、令和7年2月3日(月) 15時より協会会議室にて、持続可能な社会の実現に向け、静脈産業向けのLCAオンラインセミナーを開催し、39名（内オンライン参加37名）が参加しました。「LCAによる環境影響の見える化の基本」と題し、株式会社ゼロック 代表取締役 松井 大輔様より、汚泥やプラスチックの算定を事例としてLCAについて分かりやすくご講義いただきました。

（株）京葉興業 板垣 俊助 記

■ 会社紹介



株式会社 ゼロック
代表取締役 松井 大輔 氏

（株）ゼロック様はLCAという分野を業務領域としており、企業の環境負荷の見える化ならびに開示時の支援を行っています。

■ LCAの考え方と課題

LCA（ライフサイクル アセスメント Life Cycle Assessment）は、製品やサービスのライフサイクル全体を通じて環境負荷を数値的に評価する手法です。原料調達から製造、流通、使用、そして廃棄やリサイクルに至るまでの各段階での環境影響をデータ化することで

「比較」「最適化」「目標設定」が可能となります。この数値的アプローチは、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、生物多様性保全といった分野でも応用可能で、持続可能な社会を目指すうえで重要なツールとされています。

一方で、LCAには課題も存在します。信頼性のあるデータの収集が困難である点や、評価範囲・単位・基準の違いといった問題が挙げられます。そのため、LCAを算出する際には、目的の設定、ライフサイクルフローの理解、適切なデータ収集、条件設定が重要です。

■ 静脈産業におけるLCAの必要性和可能性

講演では、静脈産業におけるLCAの重要性について、汚泥やプラスチックの再資源化に関する具体的な事例を交えながら詳しく解説されました。静脈プロセスは、再資源化処理工程における環境



セミナー風景（協会会議室）



東京海上日動火災保険（株）様

負荷が増加する一方で、再資源化製品の価値をマイナスできる点に特徴があります。

近年、大手サプライチェーンでは環境負荷削減のニーズが高まっており、SCOPE 3の3つのカテゴリーで廃棄物が関連しています。静脈産業におけるLCAの導入はまだ十分には進んでいませんが、廃棄物処理に関連する分野として、すべての企業にとって重要な位置付けを占めています。具体的には、販売製品の廃棄、事業活動で発生する廃棄物、原材料へのリサイクル材の活用など、静脈産業が貢献できる領域は多岐にわたります。

特に、プラスチック製品を製造する業種では、廃棄関連の環境負荷が高く、静脈産業の再資源化の役割は一層重要性を増しています。そのため、廃棄関係のサービスがLCAに基づいて、環境負荷低減に寄与することを数値化できれば、多くの企業にとってそれは重要な要素となり、静脈産業の市場価値が上昇する可

能性が大いにあります。また、自社の廃棄関連サービスを、LCAを通じて環境に優しい選択肢として提示することで、新たなビジネスチャンスの創出や競争力強化につながると考えます。

今後、皆様の業界での新たな挑戦や取り組みを期待しています。

■ おわりに

この度のセミナー開催に際し、ご講演いただきました株式会社ゼロック様ならびに賛助会員である東京海上日動火災保険株式会社様には、多大なるご支援を賜り、盛会のうちに終了することができました。深く感謝申し上げます。

また、セミナー後半では、東京海上日動火災保険様より、会員の皆様を対象に、サステナブルな経営に向けたさまざまな情報をご提供いただいております。BCP（事業継続計画）、ウェルビーイング、リスクマネジメントなどにご関心のある企業様は、ぜひお気軽にご相談ください。

施設見学研修会

～ エム・エム・プラスチック(株) 富津プラスチック資源化工場 ～

医療廃棄物委員会（五十嵐 和代 委員長）は、令和7年3月3日(月)に千葉県富津市にある「エム・エム・プラスチック株式会社 富津プラスチック資源化工場」の施設見学研修会を、当協会の感染性産業廃棄物許可取得会員企業を対象に実施しました。見学会には14名が参加しました。
(株)リスト 三田 和広 記



参加者の皆さま

エム・エム・プラスチック(株)は、2006年に設立され、容器包装プラスチックの再生処理及び再商品化事業を手掛けています。本社は千葉県富津市に位置し、テラレムグループ株式会社が出資企業となっています。

家庭から排出される容器包装プラスチックをリサイクルした再生プラスチック原料から、高品質な物流パレットの製造・

販売を行っており、なかでも独自のサンドイッチ成形技術を用いて芯材にリサイクル材、表面層にバージン材等を使用したMMPパレットは、従来のバージン材100%を使用したパレットと同等の強度を維持しつつ、資源の有効活用やCO₂排出量の削減を実現しています。

富津プラスチック資源化工場は千葉県内で最大級、全国でも有数の規模を誇り、



会議室にて説明をうける

容器包装プラスチックの再資源化を通じて、循環型社会の構築に貢献しています。

最大処理能力は、容器包装プラスチック27,000 t/年、産業廃棄物系プラスチック30,000 t/年、パレット生産能力10万枚/年。

選別ライン

工場の選別ラインは、家庭から回収されたプラスチック製容器包装を効率的にリサイクルするため、各工程で構成されています。

1. 受入・解砕

各自治体から搬入された容器包装プラスチックを受入、解砕機に投入して細かく破砕

2. 赤外線選別（マルチソーター）

手選別後のプラスチックは赤外線選別機を使用して、PP、PE、PS、これら以外の素材ごとに自動分類

3. 浮遊選別

水を用いてプラスチックの比重の違いを利用し、PPやPEなどの軽い素材を浮



見学の様子

かせ、PVCやPETなどの重い素材を沈めることで、さらに精度の高い選別

4. 比重選別

浮遊選別機と同様に水を用いてプラスチックごとの比重の違いを利用した選別

5. 破砕・洗浄・脱水

選別されたプラスチックは、破砕され、洗浄・脱水工程を経て異物や汚れを除去

6. 乾燥・造粒

洗浄・脱水後のプラスチックは乾燥され、造粒機によってペレット状に再生原料に加工



見学の様子



パレット製造ライン

パレット製造ラインは、リサイクルされたプラスチック原料を用いて高品質な物流パレット（MMPパレット）を生産するため、各工程で構成されています。

1. 原料投入

選別・洗浄・造粒された再生プラスチックペレットをコア材（芯材）及びスキン材（表面材）としてそれぞれの投入タンクに供給

2. 射出成形

独自のサンドイッチ成形技術（MMP技術）を用いて、コア層には容器包装リサイクル材から作られた再生材を、スキン層には品質の安定した再生材やバージン材を使用し、パレットを成形

3. 後加工

成形されたパレットに対して、必要に応じて溶着機による補強やグロメット（滑り止め部品）の圧入、テープの溶着、ロゴの印刷などの加工

4. 品質試験

完成したパレットは、強度や寸法、耐久性などの品質試験を実施し、製品が

JIS製品規格以上の基準を満たしていることを確認

このような工程を経て、エム・エム・プラスチック株式会社は高品質な再生プラスチック原料を製造し、物流パレットなどの製品に再生利用しています。

製品の販売先拡大に向け、営業活動を強化しているとのこと。

エム・エム・プラスチック株式会社は、廃棄物プラスチックの再資源化を事業の中心に据え、環境負荷の低減や循環型社会の実現に貢献している点が印象的でした。特にリサイクル材を活用しながら強度や品質を維持する独自の成形技術を持ち、物流パレットの製造を通じて実用的なりサイクル製品を提供しているのは大きな強みと感じました。品質管理や環境保全への取り組みが徹底され、企業としての社会的責任を意識しながら持続可能なビジネスモデルを確立している点が、とても勉強になりました。

今回の見学会にご協力を賜り、感謝申し上げます。

2024年の安全衛生活動の現状調査集計結果

（一社）東京都産業資源循環協会では、2023年に2023～2025年度の労働災害防止計画を策定しております（機関誌第396号（令和5年9月1日発行）12～20ページ参照）。また、この計画に基づき、2024年12月～2025年1月にかけて、会員企業における2024年の取組を把握する調査を実施いたしました。全正会員530社に郵送にて調査のお願いをし、半数の265社の皆様から回答を得ることができました。ご協力を賜り誠にありがとうございます。

東京労働局によりますと、都内の産業廃棄物処理業とその他の廃棄物処理業を合算した令和6(2024)年の休業4日以上死傷者数は284人（うち死亡2人）（12月末日速報値）と高い傾向にあります。これは前年に比べて約25%増加しており、非常に危機的状況であります。会員各位におかれては実施できていない取組項目も多々あるようですので、経営者の皆様が先頭にたって一層の取組強化を進められるようお願い申し上げます。

会長 鈴木 宏和
安全衛生推進委員会委員長 細沼 順人

安全衛生活動の現状調査集計結果表

（一社）東京都産業資源循環協会
アンケート発送数：530

No.	入力項目	R6 (今回) 集計結果	R5 集計結果	R7 目標値	達成状況
①	アンケート回答数	265	224	228	○
②	協会の安全衛生事業を認知している会員数	236	199	216	○
③	協会が実施する安全衛生研修会に参加している会員数	94	86	126	×
④	連合会が提供している支援ツールを認知している会員数	189	160	135	○
⑤	経営トップが方針決定及び表明している会員数	137	121	全企業	×
⑥	無災害宣言をしている会員数	74	65	—	—
⑦	安全衛生規程を作成している会員数	129	118	114	○
⑧	安全衛生教育を徹底している会員数	174	145	—	—
⑨	安全衛生パトロールを実施している会員数	151	120	165	×
⑩	ヒヤリ・ハット活動を実施している会員数	166	148	171	×
⑪	リスクアセスメントを実施している会員数	123	108	105	○
⑫	安全衛生管理体制を構築している会員数	226	193	195	○
⑬ 内訳	4日以上休業災害数	115	67		
	墜落・転落	19	15		
	はさまれ・巻き込まれ	23	14		
	転倒	22	19		
	その他	51	19		

◆安全衛生活動の現状調査票をご提出いただきました会員企業

(265社) (五十音順)

会社名	会社名	会社名
アースサポート(株)	鹿島環境エンジニアリング(株)	(株)完山金属
(株)アーバンサービス	(株)かじわら	(有)さとみ企画
アイエスジー(株)	加藤商事(株)	(株)サニックス
(株)アイザック	(株)加藤商事	三英オフィスサービス(株)
相田化学工業(株)	(株)カネテツ	三光(株)
(株)IWD	カポック(株)	三東運輸(株)
(有)青木建材	(株)川上商店	三洋商事(株)
(株)旭化工	(株)環境システムサービス	三立建設(株)
旭器機サービス(株)	(株)環境整備	(株)三凌商事
アサヒ産業(株)	(株)環境テコム	三和興業(有)
(株)旭商会	関東名鉄運輸(株)	GNA 環境(株)
アジア工業(株)	(株)木下フレンド	(株)ジーエムエス
アトラス商事(株)	キムラ工業(株)	(株)JRS
(有)アベマキ	(株)共運	J & T 環境(株)
(株)有明	(株)協栄清水商店	JW ケミテック(株)
有明興業(株)	(株)共同土木	品川運輸(株)
(株)アルフォ	(有)峡南環境サービス	芝浦運輸機工(株)
(有)イガラシ	(株)キョクジュウ	ジャパン・メディカル & DS (株)
(株)五十嵐商会	桐井電設工業(株)	ジャパンウェスト(株)
(株)市川環境エンジニアリング	(株)クマクラ	(有)ジャパנקリーン
市川燃料チップ(株)	クリーンサービス(株)	(株)首都圏環境美化センター
上松輸送(株)	(株)クリーンテックメディカル	(株)昇鋭
(株)ウチダ	栗原興業(株)	(株)昭和石材工業所
ウム・ヴェルト(株)	(株)クルーズ	(株)昌和プラント
浦野産業(株)	(株)黒姫	(株)ショーモン
栄晃産業(株)	(株)ケイ・エム環境	白井運輸(株)
栄和清運(株)	(株)京葉興業	白井エコセンター(株)
永和鉄鋼(株)	小岩興業(株)	(株)新開トランスポートシステムズ
栄和リサイクル(株)	(株)江栄	新日本産業(株)
(株)エコ・エイト	弘済運輸(株)	新和環境(株)
(株)エコ・クリーン	(株)光州産業	信和興業(株)
(株)エコ・ファクトリー	鴻池運輸(株)	(株)スリーピングサービス
(株)エコワスプラント	甲陽興産(株)	杉村運輸(株)
エスジー(株)	広陽サービス(株)	S. P. E. C. (株)
SBS 即配サポート(株)	小坂産業(株)	世紀東急工業(株)
NK リサイクル(株)	コスモ理研(株)	成友興業(株)
(株)N-TECH	コトブキ環境(株)	(株)関商店
(株)大蔵	(株)小早川運輸	(株)総合整備
太田商事(株)	(株)駒形	(株)十河サービス
大谷清運(株)	(有)コヤマ商店	(株)第一グリーン
オオノ開発(株)	酒井建設工業(株)	(有)太盛
(有)小作物産	栄鉄鋼商事(株)	大生運輸(株)
(株)小野組	(有)さくら総業	太成興業(株)

会社名	会社名	会社名
大成ロテック(株)	(株)仲村工業	増島エアーサービス(株)
(株)大東運輸	那須興産(株)	(株)増淵商店
(株)太陽油化	(株)ナリコー	松浦商事(株)
(株)高木造園	(株)ナンセイ	松島運輸(株)
高俊興業(株)	二光商運(株)	松田産業(株)
鷹取建材(株)	(株)西商店	(有)松村組
(株)貴藤	日栄産業(株)	松村ダスト(有)
(株)タカヤマ	ニッコーデンティリー(株)	丸順商事(有)
(株)タケエイ	日盛運輸(株)	(株)まるすぎ
(有)武田商会	(株)日成ストマック・トーキョー	(有)丸保商店
(有)タスク	日晴ビジネス(株)	丸両自動車運送(株)
田無衛生興業(有)	(株)ニッソー	(株)ミダック
(株)田邊商店	日本衛生(株)	(株)三森総業
千葉企業(株)	(株)日本エコブランド	三宅島建設工業(株)
中央急送(株)	日本システムケア(株)	三宅島自動車運輸(株)
(株)調布清掃	(株)日本シューター	都清掃(株)
千代田鋳砕(株)	(株)日本シルバー	武蔵野土木工業(株)
都築鋼産(株)	日本設備保全(株)	(有)村上
ティー・ビー・ロジスティクス(株)	日本メディカル・ウェスト・マネジメント(株)	村上工業(株)
ティーエスエンバイロ(株)	バイオエナジー(株)	(有)明都開発
TML (株)	(株)ハイシステム	メジャーヴィーナス・ジャパン(株)
(株)ティーエムハンズ	(株)長谷川商店	(株)メッドトラスト東京
(株)DKS ロジスティクス	(有)八栄興業	(株)山一商事
(株)TOA シブル	(株)ハチオウ	山代建設(株)
(株)東海運輸	(株)浜田	(株)ヤマゼン
(株)東京クリアセンター	(有)ハマダエンタープライズ	山大物産(株)
(株)東京スタンドサービス	(有)原島組	山田設備工業(株)
東京トリムテック(株)	(株)春江	(株)ヤマタネロジスティクス
東京ボード工業(株)	東日本ハイウェイ(株)	(有)屋満登興業
東京レンダリング協同組合	(株)ビクトリー	(株)湯田工業
(株)東光	(有)ヒサヨシ企業	(株)ヨシモリ
(株)東高	日野金属産業(株)	(株)ヨドセイ
東港金属(株)	(有)ひばりヶ丘清運	(株)リーテム
東都運業(株)	(株)日向興発	(株)リサイクル・ネットワーク
(株)東武クリエイティブ	比留間運送(株)	リサイディアコーポレーション(株)
(有)常盤組	(株)フォレスト	(株)リスト
(株)トキワ薬品化工	(有)福田川商店	(株)リノグレス
(株)TOSHI	富士建興(株)	(株)リバーズ
(株)都市環境エンジニアリング	(株)藤隆工業	労働者協同組合 労協センター事業団
(株)利根川産業	(株)フジタ環境	ロート・ルーターサービス(株)
(株)トベ商事	(株)フューチャー・エコロジー	(株)ワイ・デイ・エス
(株)トリデ	(有)フロンティア	ワイルドディープ(株)
長岡建設(株)	ベル・テック(株)	(株)和光サービス
(有)中島商店	(株)豊和商事	和興テクノ(株)
中野運輸(株)	(株)ホッカイ	
(株)中村	(株)まごころ清掃社	

オンラインセミナー

サーキュラーエコノミーとは？

中間処理委員会（福田隆 委員長）は、令和7年3月7日(月) 15時から「サーキュラーエコノミーとは？」と題して、一般社団法人循環経済協会の理事（株式会社HARITA 代表取締役）である張田真氏を招き、標記のオンラインセミナーを開催しました。張田氏は、経産省や内閣府、富山県の委員などもされています。協会の会議室にて10名、オンラインで60名が参加しました。内容が豊富で多岐にわたるので、テーマを絞って報告します。
（事務局長 竹内 高広）



(上) 張田氏
(左) セミナー会場

○ 開会あいさつ 福田委員長

我が国のサーキュラーエコノミー（以下「CE」と略す）の第一人者である（一社）循環経済協会理事の張田真様に御講演をいただくことになった。CEは何かよくわからないこともあり、本日のセミナーが皆様の学びのきっかけになれば幸いです。

○ 張田真氏講演

① CEとは何か

CEは直訳すると循環経済で、定義はこれが正解だというものはまだない。本日の目的は、CEとは何かを学び、会員企業にその認知を高めて各社のレベルアップに貢献したいというものである。CEは、総論では賛成で、各論に入ると意識のずれが生じることが多い。また企

業間の共通言語が無い状態が問題である。CEは、コストを下げる手段として捉える企業が多い。何を狙っていくのかを一度言葉に落とし込んで、具現化するアプローチは非常に重要である。戦略と戦術があるが混同させてしまうことも多い。戦略が非常に大切である。戦略つまり間違えたゴールを目指さないようにしなくてはならない。CEはゴール、戦略ではなく手段である。欧州は経済構造を変えて競争力ある経済戦略を掲げている。我々も戦略を言語化、可視化して何をやるかをしっかりとらせることが重要である。そして、3RとCEは一部重なる部分はあるが異なるものである。CEはサプライチェーン全体を網羅する、製品の開発段階からサーキュラーデザインを実装するなど範囲も異なる。

② CEで拓く企業革新と地方創生

循環経済は、大量生産・大量消費・大量廃棄が一方向に進むリニアエコノミー（線形経済）に代わって、近年EUを中心に提唱されている新しい経済のしくみである。あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を目指す社会経済システムを意味する。3Rを目指しているのではなく、経済構造を変えてしまおうというものである。循環経済型社会と循環型社会は違うものだという事は押さえておきたい。また、「企業革新」という考え方は、戦

略には寿命があるという認識に立脚したものである。企業を取り囲む環境変化などに対応して経営のスタイルを変えていくことは極めて重要である。経営環境が歴史的転換期である今、CEは企業成長・存続に不可欠なファクターとなる。

地方創生と地域活性化は、どちらも地域の発展を目指すものであるが、スコープやアプローチが異なる。地域活性化は、観光イベントの開催や商店街の振興など、比較的短期的な取り組みを指すことが多いのに対し、地方創生は、長期的な視点で地域全体の持続可能な発展を目指す総合的な取り組みを意味する。CEは新しい時代を切り開いていくビジネスデザイン・地域デザインでありたい。

③ 廃棄物処理とCE

廃棄物処理とCEの関係について日本は、リサイクルの更なる進展、人口減少、製造からサービス領域へといった産業構造変化、CEと高度化法により動脈産業の参入、次世代消費意識変化でリファービッシュが進み、新品より中古品を選ぶ等の行動変容で単純な廃棄物市場は激減していく。我々廃棄物業界は事業リスクと機会を可視化し、いい意味で「正しく恐れる」ことが求められる。カーボンニュートラルの新しい市場も創り出してシフトしていくことも求められる。

このあと、活発な質疑応答が行われた。

「産廃エキスパート」・「産廃プロフェッショナル」の 令和6年度の認定の報告と令和7年度の募集について

東京都の優良性基準適合認定制度は、平成21年10月に全国で初めて創設した制度です。産業廃棄物処理業者の任意の申請に基づき、適正処理、資源化及び環境に与える負荷の少ない取組を行っている優良な事業者を、第三者評価機関として東京都が指定した公益財団法人東京都環境公社（以下「公社」という。）が評価・認定しています。



評価委員会の様子

産業廃棄物処理業者の事業内容や取組状況に応じ、産廃エキスパート（業界のトップランナー的優良業者）と産廃プロフェッショナル（業界の中核的役割を担う優良業者）の2種類の認定区分があります。

この制度では、評価員が書面審査に加え、施設や事務所等の管理状態について現地で審査を行います。

この度、令和6年12月9日に、公社の本社会議室において、令和6年度申請者の評価基準への適合の可否を判定する第三者評価機関評価委員会（以下、「委員会」という。）を開催し、令和6年度の認定事業者が決定しましたので、お知らせいたします。

認定事業者数

区 分	認定事業者数	専門性 (感染性廃棄物)	業の区分		
			収集運搬業 (積替え保管を除く)	収集運搬業 (積替え保管を含む)	中間処理業
産廃エキスパート	41	5	19	21	17
産廃プロフェッショナル	30	8	16	13	6
計	71	13	35	34	23

(注) ・複数の業の区分の認定を受けている事業者があるため、認定事業者数の合計は整合しない。

- ・更新申請65社、新規申請6社の合計71社の評価を行い、上表のとおり全てが適合と判定されました。

認定の詳細については、東京都環境局・東京都環境公社のWebサイトでご確認いただけます。

産業廃棄物対策課 Web サイト



公益財団法人 東京都環境公社 Web サイト



■令和6年度の新規申請者について

- 内 容 新規申請が6社
・新規加入理由

資源循環・廃棄物処理のDX推進事業の補助金申請をするため。(2社)
業界の中での優位性の確保と、顧客からの信頼を獲得するため。(2社)

令和5年度に、申請者の事務負担を軽減するため東京都が「評価項目を厳選」し、改正した評価項目で審査を開始しました。

委員会は、適合の可否の判定のほか、制度の一層の充実を図るために、事務局から主な評価項目における得点率の傾向と課題について報告し、有識者である評価委員の助言を得る場でもあります。

次に、その中から代表的な評価項目について、得点率の傾向及び課題と公社としての対応をご紹介します。

【適合判定結果における評価項目別得点率の傾向と課題について】

評価項目別に、その内容や課題を記載しております。

■インターネット情報公開（エキスパート・プロフェッショナル共通）

- 基 準
 - ・産業廃棄物処理業者の自社 Web サイトで評価項目に該当する情報を公開していること。
 - ・「さんばいくん」で情報が公開されている場合は、自社 Web サイトからリンクされ、情報画面にジャンプできる状態になっていること。

○ 平均得点率表

項 目	得点率	
	産廃エキスパート	産廃プロフェッショナル
① インターネット情報公開「会社概要」	100%	88%
② インターネット情報公開「施設及び処理状況」	100%	79%

○ 傾 向

産廃エキスパートの得点率は、①②の平均が100%と高くなっており、この項目は、令和5年度より必須となったため、無事に産廃エキスパートへの第一段階をクリアできたこととなります。

また、産廃プロフェッショナルの得点率は①②の平均が84%となっており、産廃エキスパートと比較すると16%低くなっています。これは、情報公開をすることが優良な事業者の必須要件としての認識はあるが、必要な情報が準備できず、満点にならない事業者があるためです。

○ 課題と対応

情報公開は、得点率が高いものの、掲載内容が充実している事業者と必要最低限しか掲載しない事業者があり、取組に差が生じています。今後も、説明会で情報公開の重要性を伝え、掲載内容の充実を促します。また、公社の Web サイトを活用し、優良認定事業者一覧表に事業者 HP アドレスをリンクする等して、排出事業者が認定事業者の情報を閲覧しやすいように努めています。

■労働安全衛生組織、労働安全衛生（PDCA）の実施、事業の継続・復旧（BCP）の策定（エキスパート・プロフェッショナル共通）

○ 基 準

- ・ 事業規模に応じ、安全衛生委員会等の組織を設置等していること。
- ・ 労働災害事故の未然防止等に向けた取組を行い、PDCA サイクルを継続的に実施していること。
- ・ 事故や災害発生時のための事業の継続・復旧（BCP）を策定していること。

○ 平均得点率表

項 目	得点率	
	産廃エキスパート	産廃プロフェッショナル
①「労働安全衛生組織の設置等」	100%	100%
②「労働安全衛生（PDCA）の実施」	90%	90%
③「事業の継続・復旧（BCP）の策定」	70%	75%

○ 傾 向

① 労働安全衛生組織の設置等

産廃エキスパート、産廃プロフェッショナル共に 100% となっています。

この項目は、研修や健康診断等の管理表（計画と実施状況）の提出が不十分ですと取得ができない場合がありますが、今回は、十分対応していると評価されました。

② 労働安全衛生（PDCA）の実施

計画（P）・実行（D）においては、ほぼ実施されておりますが、評価（C）・改善（A）においては未実施の事業者が見受けられました。

③ 事業の継続・復旧（BCP）の策定

産廃エキスパート、産廃プロフェッショナル共に 70%以上となりました。危機管理マニュアルと区別できず BCP を作成できないケースが多いようですが、説明会資料に詳細を載せ、現地でアドバイスを行うことで、徐々に BCP の策定に取り組む事業者が増えています。

○ 課題と対応

傾向②と③の結果により、取り組みづらい傾向にある「PDCA の継続的な実施」については、書面だけでなく現地審査でも確認をしています。「事業の継続・復旧（BCP）の策定」については、安全対策のレベルアップに繋げるために、事務局側から理解を深めるための計画策定の仕方や実施状況がわかる例を説明会資料に加えています。

☆ ポイント

傾向②の「労働安全衛生（PDCA）の実施」は、安全衛生等の「P（計画）」「D（実施）」「C（自主点検）」「A（改善・是正）」の各項目内容について、活動記録・議事録等により説明できるように書面及び現地審査で確認をしています。

■「認証取得」及び「環境に配慮した経営」（エキスパートのみ）

（「環境に配慮した経営」の項目は、改正前の「企業の社会的責任体制」と「LCA」の項目を統合したものです。）

○ 基 準

- ・ 環境に関する基本方針を定めていて、CSR 報告書や環境報告書、LCA 分析結果表等を定期的に公開していること。

○ 平均得点率表

項 目	得点率	
	産廃エキスパート	産廃プロフェッショナル
① 認証取得（ISO 等）	96%	
② 「環境に配慮した経営」	71%	

○ 傾 向

項目②の「環境に配慮した経営」については、他の項目と比較して低い得点率となっています。環境に関する基本方針を定めているものの、環境報告書を作成していないことから当該項目が取得できない事業者が多く見受けられます。しかしながら、関連する ISO の認証取得の得点率は 96%と高得点となっており、環境報告書は、エコアクション 21 の環境経営レポートや ISO での実績報告書内容を参考に作成することができますので、取得可能な項目であると考えます。

その他、当該項目を取得していない中小企業の方も取り組みやすい「エコアクション 21」を実施する事業者が増えています。

○ 課題と対応

排出事業者の要請への対応を図るとともに企業自らの姿勢を積極的に示すため、産業廃棄物処理業界においても項目②の「環境に配慮した経営」の取組を浸透させていくことが重要です。

経営姿勢の効果的なPR、ブランド力の強化、従業員が誇りを持って働ける職場への転換を図るためにも、項目②の「環境に配慮した経営」の充実や項目①の「認証取得」が排出事業者を選択される優良な事業者にとって欠かせない取組であることを説明会で周知します。

また、エコアクション21又はISOを取得した内容を整理し環境報告書を作成することにより、項目②の「環境に配慮した経営」の取得に繋がれることを周知していきます。

■技術の開発・研究（エキスパートのみ）

○基準

- 先進的な環境企業として、AIやITなどを活用し、作業の効率化や適正処理・リサイクル技術の開発のための分析や研究を行い、課題解決への応用に取り組み、持続的な計画により、これを推進していること。

○平均得点率表

■技術の開発・研究(エキスパートのみ)	得点率	前回申請時の平均得点率	前回との差
収集運搬業（積替え保管を除く）	71%	34%	+ 37%
収集運搬業（積替え保管を含む）	76%	37%	+ 39%
中間処理業	52%	43%	+ 9%
①～③の平均得点率	67%	38%	+ 29%

○傾向

前回との比較から、収集運搬業（積替え保管を除く）は37%アップ、収集運搬業（積替え保管を含む）は39%アップ、中間処理業は9%アップしております。

この項目は、改正前は取組がしづらい項目でしたが、令和5年度の改正で「AIやITなどを活用すること」で得点につなげるようにしました。しかし、申請者には内容が理解しづらかったので、評価員が現地で補足の説明をするなど、取得に向けて厳格かつ丁寧に対応を行いました。

○課題と対応

AIやITなどを活用しての【技術の開発・研究】という新しい項目のため、戸惑った事業者が多くみられました。

今後は、説明会資料で具体事例を用いて説明するとともに書式も同一化してわかりやすくしていきます。

また、廃プラスチック類をはじめとしたマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルの積極的な推進、CO₂削減、DX、AI、自動化、労働安全、交通安全などの参考事例も先進業者からの了解を得て例示していきます。

☆ポイント

AIやITなどを活用して、「現状分析」「結果分析」「費用対効果」等について、検証・考察している書面やデータを書面及び現地審査で確認しています。

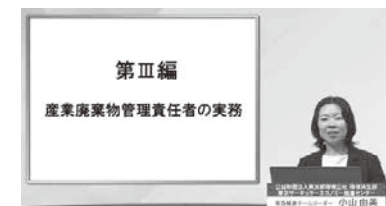
【東京都と連携し、認定事業者の認知拡大に向けた取組を実施】

公社や都では、認定事業者の認知拡大のため、排出事業者へ向けて次のような取組をしています。

■排出事業者を対象とした認定事業者の活用促進

○内容

排出事業者講習会（産業廃棄物管理責任者講習会）において、信頼できる処理事業者の選定のために認定制度の活用を説明しています。



オンライン講習会の様子

■排出事業者向けリーフレットの作成・周知

排出事業者の方々へ向けたリーフレットを公社Webページに掲載しております。

認定事業者の方々が、ダウンロードし営業等に活用できるようにしています。

リーフレットの概要

- 優良認定事業者とは
- 優良認定事業者の特徴
- 優良認定事業者を選ぶメリット
- 優良認定事業者の探し方

東京都が認定した優良認定事業者を是非ご活用ください！

東京都の優良認定事業者とは？
東京都では産業廃棄物の適正処理・資源化・環境に与える負荷の少ない取組を行っている産業廃棄物処理業者を、優良な産業廃棄物処理業者として認定しています。法の遵守状況に関する「遵法性」、事業運営に関する「安定性」、環境に配慮した「先進的な取組」について、東京都知事指定の第三者評価機関が厳正かつ公正に審査して認定した事業者が「優良認定事業者」です。

産廃エキスパート 産廃プロフェッショナル

安全安心 信頼性が高い
先進的 エキスパート認定事業者
法的 産廃エキスパート
プロフェッショナル認定事業者
優良 Level 3
産廃プロフェッショナル
優良 Level 2
産廃プロフェッショナル
許可業者 約18,000社
都の許可を有する処理事業者

(表)

産業廃棄物の処理は、排出事業者の責任です。排出事業者責任を果たすための有効な手段として都の優良認定事業者の活用をご検討ください！

Feature 都の優良認定事業者の特徴は？

- 透明性が高い (情報公開)
- 遵法意識が高い
- 環境配慮に優れた取組を行っている

Merit 優良認定事業者を選ぶメリットは？

- 安心: 専門の評価員が書面だけでなく、現地審査も行い公平・公正に評価
- 確実: コンプライアンスの確保や適正処理の確実な実施
- 貢献: 自社の環境配慮への取組のアピール

優良認定事業者はどうやって探す？

問い合わせ先
優良性認定の制度全般について
東京都環境局 資源循環推進部 産業廃棄物対策課
TEL 03-5388-3586

八王子市 資源循環部 廃棄物対策課
TEL 042-620-7458

東京都知事指定第三者評価機関
公益財団法人東京都環境公社 優良性認定評価室
TEL 03-5644-3333
HP https://www.tokyokankyo.jp

(裏)

■処理業者を対象とした研修事業等の充実

○ 内 容

産業廃棄物処理業者の方を対象に、廃棄物処理法や委託契約、マニフェスト等の産業廃棄物の適正処理の基礎知識と実務を学び、現場や実務担当者のスキルアップやお客様へのサービス向上を図る内容の講習会を開催しています。

■都での Web サイトでの活用の充実

○ 内 容

環境局 HP での産業廃棄物処理事業者情報の検索システムにおいて、都独自の優良認定（産廃エキスパート、産廃プロフェッショナル）を検索条件の一つとし、検索結果画面においては、優良認定を受けている事業者が上位に表示されるようになっております。

【検索結果画面】

合計 10 件 1 / 1 ページ

検索結果PDF出力

※(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(JMNET)の登録情報より表記しています

都独自の優良認定	許可番号	業者名		電子マニフェスト案	施設種類 (○は取扱い可能、△は限定ありの取扱い)														
	業の区分	代表者氏名	許可住所		密着型	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物糞尿	ガラス	プラスチック	ばいじん	政令13号	水銀含有ばいじん等
★	収集運搬 2022/05/	代表取締役	東京都世田谷区	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
★	収集運搬 2027/05/	代表取締役	東京都世田谷区		○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	収集運搬 2024/03/	代表取締役	東京都世田谷区	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

エキスパートやプロフェッショナルも上位表示されるようになった

【令和7年度「優良性基準適合認定制度」申請について】

令和7年度「更新・新規 申請事業者向け配信型説明会」のお知らせを、令和7年4月中旬に公社のホームページに掲載しております。申請受付開始日より、無料で配信型説明会の動画配信を行います。

※令和5年度から「評価の適合基準」が変更となりました。

産廃エキスパートを申請される方は、遵法性の他に、安定性においても指定された項目は必ず取得していただく必要があります。詳細は、配信型説明会の動画を必ずご覧ください。

申請事業者向け配信型説明会	令和7年5月19日(月)	配信開始
事前相談(予約制)	令和7年5月19日(月)～ 各種申し込み終了日	

なお、更新対象事業者の皆様には、「令和7年 申請の手引き」等を郵送いたします。また、新規申請事業者の皆様には、「配信型説明会」の日程等を(一社)東京都産業資源循環協会から会員の皆様に周知させていただきますので、そちらもご覧いただきますようお願いいたします。

■申請について

申請書類は、郵送でのご提出をお願いしております。ただし、直接持参を希望される方は、事前のご予約をお願いいたします。詳細については、公社 Web サイト優良性認定評価室の案内をご覧ください。

	業の区分	Web エントリー及び申請書類受付開始	申請書提出締め切り(必着)
更新	収集運搬業(積替え保管を除く)	令和7年5月19日(月)	令和7年7月18日(金)
	収集運搬業(積替え保管を含む)		令和7年7月25日(金)
	中間処理業		令和7年7月25日(金)
	同時申請(収集運搬業+中間処理業)		令和7年7月31日(木)
新規	すべての業の区分		令和7年8月20日(水)

申請方法については、公益財団法人 東京都環境公社 Web サイト(優良性基準適合認定制度のページ)でご確認いただけます。

『レゴ®ブロックを用いた、 ビジネスコミュニケーションスキル研修』を開催

青年部（畠山 孟賛 部長）は、令和7年2月13日（木）13時30分より、KANDA SQUARE HALL（千代田区神田錦町）にて講師に株式会社クック・ビジネスラボ 代表取締役の森 琢也 氏を招き、LEGO 研修を開催しました。部員が所属する企業から部員外の方々にも参加いただき、参加者は総勢30名にのびりました。研修後の懇親会にもほとんどのメンバーがそのまま参加し、研修・懇親会を通して部員同士の交流を深めることができました。
（株）浜田 池田 勇飛 記



研修風景

手の良い部分よりも悪い部分に目が付きやすい傾向があり、褒めるためには相手のことをよく観察し、良い部分を意識的に探す必要があります。

実際にブロックを使ったカリキュラムでは5～6名で1グループとなり、全員に同じ形・個数のブロックが配布され、その中から1つだけ気に入ったものを直感で選択したり、制限時間内とにかく高く積み上げたりするだけの単純な作業でも個々の作品には大きな違いが生じていました。また、ランダムなブロックの山から制限時間内にパーツを選定して自分自身を表現するというワークでは、十人十色な作品に仕上がったこともさることながら、グループメンバー同士のフィードバックでも本研修の目標の1つである良い質問を意識したコミュニケーションが図れました。終盤には事前課題として出題されていたコミュニケーション・スタイル診断の結果を元に4つ

の区分に分類され、各区分のメンバーの特徴や褒め方を学びました。実際にグループ内の1名を順番に他のメンバー全員が3分間褒め続けるというワークを行い、研修を通して得た学びを駆使してグループメンバーを褒めまくりました。褒める側も褒められる側も笑いあり恥ずかしさありで、室温が数℃上昇するほど盛り上がり、大盛況という形で今回の研修は幕を下ろしました。



今回のLEGO研修を通して、社内社外問わず様々な場面で有用なコミュニケーションスキルを学ぶことができました。良い質問の仕方や相手を褒めることは、少しずつでも意識的に実践することでやがて良い変化に繋がります。本研修が参加者の良い変化のきっかけになることを願いつつ、今回参加できなかった方々にも次回の研修が成長や学びのきっかけになるよう企画を続けていきます。



参加者の皆さま



森 琢也 氏

LEGO ブロックに触れるのが久しぶりな方が大半で、どのような研修内容か気になる中で研修がスタートし、森氏の挨拶後に今回の研修における「ビジネスコミュニケーションスキルを深める」というゴールが発表されました。ここでいうスキルとは「発問スキル」と「承認スキル」と定義されており、前者は良い質問をすれば自分に

も相手にも気付きを与え、潜在的な考えや想いを発露させる機会が得られるというものです。良い質問を増やすには、YES・NOで回答ができてしまう質問を避けつつ、相手がついつい答えたい質問が良い質問とされています。後者の承認スキルは相手を褒める、または認めることであり、本研修では自身の作品との違いを「楽しむ」ことを意識し、メンバーの作品にはポジティブフィードバックを行うことが求められました。人は相

第96回理事会

開催日時：3月12日(水) 15時25分～17時35分 場所：協会会議室

出席者：理事17名 / 監事2名

議題：

1. 決議事項

- (1) 新入会員の承認
- (2) 令和7年度事業計画及び予算
- (3) (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰の選考

2. 協議事項

- (1) 令和8年賀詞交歓会会場

3. 報告事項

- (1) 令和7年1月24日賀詞交歓会収支報告
- (2) 1月及び2月の月次会計報告及びマニフェスト販売状況
- (3) 令和7年度理事会等開催予定
- (4) 東京都予算要望の回答
- (5) 産業廃棄物処理業者に対する行政処分
- (6) 東京都廃棄物審議会報告

4. その他

- (1) 東京都優良性基準適合認定制度について
委員会報告・部会報告

次回開催日：第97回理事会 4月9日(水)

法制度検討委員会（都築委員長）

開催日時：2月27日(水) 10時～ 場所：協会会議室 出席委員：10名

議題及び内容：

① 一般廃棄物を産業廃棄物処理業者が扱えるようにするための再資源化事業等の高度化の活用を伴う法改正について、前回議事検討内容についてのご報告

前回の議事内容について報告を行い、各委員間で検討内容の再確認を実施した。また、高度化法の認定制度については、今後も引き続き情報収集を行い、その活用を検討することとした。

② 来年度の活動計画

来年度の開催日程について、各委員の予定を踏まえて調整を行った。

次回開催日：4月25日(金) 10時～12時 協会会議室

人材確保プロジェクト（二木リーダー）

開催日時：2月27日(水) 14時～ 場所：協会会議室及び Web 会議

出席者：7名

議題及び内容：

●令和7年度の取組内容

- ① 会員企業の人事・採用担当者のネットワークづくりについて
- ② 「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会（仮）」の継続実施について
- ③ 人材確保のための大学キャリアセンター等と連携した出前授業（仮）の実施について

次回開催日：6月3日(水) 14時～ 協会会議室

安全衛生推進委員会（細沼委員長）

開催日時：3月5日(水) 15時30分～ 場所：協会会議室 出席委員：11名

議題及び内容：

① 令和7年度安全衛生表彰の推薦について

推薦者について、表彰規程、運用規則に照らし合わせて受賞について審議を行った。運用規則に基づき、常任理事会で諮ったうえで決定とする。

② 令和7年度活動計画について

事業計画と年間計画表について確認した。

③ 令和7年度安全衛生パトロール先について

まずは理事の会社からパトロールを実施することとする。

④ 第1回安全衛生推進大会の結果と第2回に向けて

1月24日に開催した大会の振り返りと第2回に向けての課題とプロジェクトメンバー選出について議論した。

⑤ 令和7年緑十字賞候補の推薦について

協会から関東地域協議会への推薦を検討した。

⑥ 令和7年東京労働局長表彰の推薦について

東京労働局より東京労働局長表彰の推薦について案内があった。安全衛生推進賞に協会より1名推薦する。

⑦ 安全衛生活動の現状調査票の提出結果

今回の結果を踏まえて今後の活動について議論した。

次回開催日：6月18日(水) 15時～ 協会会議室

中間処理委員会（福田委員長）

開催日時：3月7日(金) 16時30分～ 場所：協会会議室 出席委員：10名
 議題及び内容：

- 令和7年度活動について
 - ・ 6月 プラスチックリサイクルの業界団体と意見交換会
 - ・ 8月 中間処理 DX 事業者との意見交換会
 - ・ 10月 再資源化事業高度化勉強会
 - ・ 11月 ケミカルリサイクルの業界団体と意見交換会
 - ・ 2月 サーキュラーエコノミー勉強会

次回開催日：6月9日(月) 15時～ 意見交換会

建設廃棄物委員会（高橋委員長）

開催日時：3月17日(月) 15時～ 場所：協会会議室 出席委員：11名
 議題及び内容：

- 令和7年度の活動について
 - ① 6月4日(水) 委員会を開催する。
 例年10月頃に開催している、関連三団体（（一社）東京建設業協会、（一社）東京建物解体協会、（一社）東京都中小建設業協会）との合同施設見学会、行政を交えた意見交換会開催について協議していく。

次回開催日：6月4日(水) 15時～ 協会会議室

表紙の言葉

●今月の写真：[防災公園] 駒沢オリンピック公園（世田谷区、目黒区）

世田谷区と目黒区にまたがるこの公園は、その名のとおり1964年東京オリンピックの第2会場として競技が行われました。大会終了後に一般に公開され、運動公園として親しまれています。表紙写真右に見える建物が陸上競技場で、災害時にはヘリコプターの緊急時離着陸場となります。園内には約120組の下水道直結型トイレ（左下の写真）がついています。災害時は水道管破裂等で断水になることを想定し、井戸で組み上げた水を貯めて流下用を使用するそうです。

●参照：（公財）東京都公園協会HP ●撮影者：塩沢 美樹（機関誌編集担当）



新入会員紹介

※東京都内の許可以外は一部ご紹介となります。

株式会社 富山環境整備

代表取締役 松浦 英樹

富山市長 産業廃棄物処分量 中間処理

- 破砕・選別、破砕、選別、圧縮、減容
 [廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（自動車等破砕物であるものを含む。）（石綿含有産業廃棄物であるものを除く。）（水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。）]
- 破砕・洗浄 [廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物であるものを除く。）]
- 生物処理・中和 [廃酸、廃アルカリ（水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。）（水銀含有ばいじん等であるものを除く。）]

※他各種許可取得

富山市長 産業廃棄物処分量 最終処分（埋立）

- 管理型 [燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、政令13号廃棄物（自動車等破砕物であるものを含む。）（石綿含有産業廃棄物であるものを含む。）（水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。）（水銀含有ばいじん等であるものを含む。）]

富山市長 特別管理産業廃棄物処分量 中間処理

- キレート処理・吸着処理 [燃え殻、汚泥、鉱さい、ばいじん]
- 中和・混合・調整処理 [廃酸、廃アルカリ]
- 凝集・脱水処理 [汚泥]
- 焼却 [燃え殻、汚泥、ばいじん、感染性産業廃棄物]

富山市長 特別管理産業廃棄物処分量 最終処分（埋立）

- 管理型 [廃石綿等]

〒939-2638 富山県富山市婦中町吉谷3-3

☎076(469)5356



株式会社

京葉興業

URL <https://www.keiyokogyo.co.jp>



快適な環境づくりと
自然との共生をめざして



< 京葉興業グループ >

実績と信頼のもと
多様なニーズにお応えします

株式会社 京葉興業 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町1丁目2番6号 Tel03-3678-0111 Fax03-3670-9140
三和清運 株式会社 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町3丁目2番6号 Tel03-3679-8555 Fax03-3679-3855
株式会社 ビー・アル・クリエイティブ 〒289-0511 千葉県旭市鶴木3 4 8 4 番地1 Tel0479-68-4808 Fax0479-68-4809

Tea Break



和製洋食「とんかつ」の発祥



時は明治。日本国が、欧米列強に負けない近代国家の国造りをするなかで、歴史上日本人が初めて「国民」となり、誰もが新しい時代の真っ只中で、新しい夢を自由に描ける楽天的な時代。そうした時代に、「天皇が肉を食べた」と、新聞などで瞬間に世に広がったそうです。仏教文化の生活様式で肉食から縁遠かった庶民にとっては、どんな料理なのか？未知の世界を楽しんでいたことと思います。そして、日本の肉食の文化はここから急速に発展したのでしょう。

入れ、更に千切りキャベツを添えたのが、上野で生まれた「ぼん多本家」のカツレツで、ここから「とんかつ」の歴史が始まりました。

「とんかつ」について、インターネットで調べてみました。諸説ありましたが、私なりにまとめると、そのルーツは、この明治時代に持ち込まれた「コートレット」にあると言われています。フランス料理の「コートレット」(côtelette) →英語の「カットレット」(cutlet) →日本語的に「カツレツ」→現在の「とんかつ」に至ります。

上野生まれの私にとって、上野が「とんかつ」発祥の地と言われていることは、自分の誇りのひとつです。私の学年は還暦となった世代ですが、学校の同級生の二人が、今でもその老舗を継いで現役で頑張っているのは、励みになっています。

ビストロなどで目にするコートレットは、仔牛や仔羊、豚などのあばら肉をスライスした骨付きばら肉(コート)に、パン粉をつけて、バターを敷いたフライパンで焼くのが一般的な料理です。このコートレットが、日本のカツレツの原型のようです。フライパンでバター焼きするコートレットは、当時の日本人には油っこく、そのしつこい味を日本人向けに工夫して、てんぷらの様に揚げる調理法にしたそうです。この時点で、焼きから揚げに変化しています。その後、日露戦争時のインフレで牛肉価格が高騰したために、豚肉を使ったポークカツレツが経済面から一般的となりました。厚切りの肉と柔らかく揚げる技法に加えて、箸で食せるよう予め包丁を

一人は、「ぼん多本家」で、明治38年創業の老舗の技を受け継ぐ、4代目の島田君。確かな目利きで最良の肉質のロースを選び、熟練の技で掃除を行い、その芯の赤身部分のみを使用。自家製ラードで低温から10分以上の時間をかけてじっくりと揚げます。創業者の島田信二郎さんは、宮内庁で西洋料理を担当していた経歴を持たれていて日本のカツレツの生みの親と言われています。

もう一人は、水泳部で一緒だった細川君。ミシュランガイドでも紹介されている、上野たぬき小路の「とん八亭」の三代目です。とんかつに合う糠床のおしんこの味を受け継いでいるのも嬉しい限りです。私も家族でよくお世話になっていましたが、恩師の先生も、このとん八亭での食事が楽しみだと話していました。

その他にも、ヒレカツで有名な「蓬莱屋」、柔らかいお肉とカツサンドを考案したことで有名な「井泉本店」などもお勧めです。ぜひ、上野観光と合わせて食べ比べしてみてください。(森 雅裕)

安全意識の循環型へ職場で繋ごう安全の輪

第4回 安全衛生標語コンクール 安全衛生推進委員会 佳作 受賞作品
(一社) 東京都産業資源循環協会

身近なヒヤリ・ハット事例 Part 189

	何処で	何をしている時	何がどうした	改善事項
1	客先現場で	4t脱着車でコンテナの交換中	コンテナ内の荷物の重心が片寄っていたため車両が転倒しそうになった。	コンテナ引上げ作業前に荷物の確認を徹底する。
2	客先現場で	現場に、誘導員の指示のもと、車両にて左折入場中	誘導員が右側に1名だったため、左からの歩行者を見逃し、車両が歩行者に接触しそうになった。	誘導者が1名の場合、車両の死角となる左側の誘導をしてもらう。自分の目で確認し、最徐行で入場する。
3	工場内で	重機破碎の補助作業中	破碎した破片が当たりそうになった。	重機周りの安全距離を確保する。作業監視者を設置する。
4	工場内で	ドラム缶の移動中	ドラム缶とドラム缶の間に指を挟まれそうになった。	単距離でもドラムポーターを使用する。
5	処分場内で	搬入車両の荷降ろし中	後部アオリを開けた時、荷物が落下してきて、巻き込まれそうになった。	アオリを開ける時はアオリ正面に立たない。アオリを開ける前に荷物の状態を確認する。

「ヒヤリ・ハット」の事例がございましたら、協会までお寄せください。



協会の主な今後の日程

(令和7年4月9日現在)

月	日	曜日	行事予定	備考
5	8	木	全産連青年部会・関東ブロック 15:00~17:00	当協会会議室
	12	月	収集運搬委員会 15:00~	協会会議室
	13	火	三役会議 / 常任理事会 / 第98回理事会	協会会議室
	14	水	広報委員会 10:00~	協会会議室
			破碎・圧縮分科会 13:30~	会員企業(足立区)
	15	木	女性部 幹事会 14:00~16:30	協会会議室
	20	火	全産連 ; 理事会	全産連会議室 Web(ハイブリッド)
6	29	木	第13回 定時総会	東京プリンスホテル(港区)
	30	金	青年部 幹事会 10:00~	協会会議室
			青年部 定時総会/研修会 15:00~	エッサム神田ホール1号館(千代田区)
3	火	人材確保プロジェクト 14:00~	協会会議室	
4	水	建設廃棄物委員会 15:00~	協会会議室	
6	金	医療廃棄物委員会 15:00~	協会会議室	
		女性部 定時総会/勉強会	エッサム神田ホール1号館(千代田区)	
9	月	中間処理委員会(意見交換会) 15:00~	産業廃棄物処理事業振興財団会議室(港区)	
6	11	水	広報委員会 10:00~	協会会議室
			新入会員と協会役員との懇談会 13:00~	協会会議室
			第99回理事会 15:00~	協会会議室
	13	金	多摩支部会 13:00~17:00	たましんRISURUホール(立川市)
18	水	安全衛生推進委員会 15:00~	協会会議室	
20	金	全産連 ; 理事会 / 第15回定時総会・40周年記念式典	明治記念会館(港区)	
25	水	収集運搬委員会 15:00~	協会会議室	
26	木	青年部 幹事会 15:00~	協会会議室	
27	金	中和・脱水分科会 15:00~	協会会議室	

40数年前、大学の農学部林学科を卒業しました。林業は、奥地の山の斜面にスギやヒノキの苗を植え、下草刈り、間引きなどをして、50年から100年でやっと収穫できる仕事です。林業はその後、低迷していきませんが、それでも当時は「山持ち=金持ち」と言われていました。

就職して間もなく、バブル経済を迎えます。都心3区を売ればカナダが買えるなど、世の中は実態とかけ離れたマネーゲームに酔っていました。やがてバブルは崩壊し、日本は失われた30年と言われる長期停滞期になっていきました。

定年退職し、廃棄物処理の仕事を手伝っていただきました。廃棄物処理は、林業に似たところがあり、親しみを感じていました。その後、当協会事務局にお世話になり中間処理委員会のセミナーを開催しますと、30代の若い講師は「廃棄物業界もCO₂の見える化で資金を得る時代である」と言います。見えない物で資金を得るとはバブルの再来か？実感がわかない中、専門用語が飛び交い、講師の話が理解できません。録音テープを何度も聞き直し原稿をまとめています。

林業の振興のため多摩の山を駆け巡ったこと、船に乗って小笠原の世界遺産を保全したことなどを思い浮かべながら、都心の事務局で遠くに来てしまったと実感しています。

当協会のある常任理事が専門誌に投稿していました。「我々の業界は循環型産業に転換していかなくてはならない。しかし、その中でも変えてはいけないもの、残していくべきものがある」私もそう思います。

「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」日本の春、自然の豊かさを感じる季節です。

いよいよ、大型連休が近づいてきました。旅行や観光もよし、家でゆっくり過ごすもよし、普段出来なかったことをするのに絶好のタイミングです。

5月の行事の一つにある、みどりの日。1989年に昭和天皇が崩御したことを機に、それまで「天皇誕生日」だった4月29日が「みどりの日」となりました。昭和天皇が植物に造詣が深く、自然を愛していたことから「緑」にちなんだ名前が付けられました。我が国は緑豊かな自然を持った国であることにかんがみ、この自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむことを願い、制定されたそうです。その後、「昭和の日」が制定され、5月4日が「みどりの日」となりました。

みどりの日には、多くの人々が公園や庭園を訪れ、自然とのふれあいを楽しむイベントが開催されます。また、植樹祭や自然保護活動なども行われ、環境保護への意識を高める機会となっています。

さて、協会の5月行事といえば「定時総会」。今年は、29日東京プリンスホテルです。賀詞交歓会と同じ会場となります。近くの芝公園や旧芝離宮恩賜庭園も新緑の良い時期でしょう。多くの方々のご参加をお待ちしております。(森)

とうきょうさんばい

第42巻第2号通巻第416号

令和7年5月1日発行

発行人 鈴木宏和
 企画・編集 広報委員会
 発行 一般社団法人東京都産業資源循環協会
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-9-13 柿沼ビル7F
 TEL 03(5283)5455(代表) FAX 03(5283)5592
 https://tosankyo.or.jp E-mail:info@tosankyo.or.jp

創業64年、人々が安心して生活できる
安全で快適な環境づくりに貢献します



廃棄物処理

- ◆一般廃棄物収集運搬
- ◆産業廃棄物収集運搬
- ◆医療系廃棄物
- ◆資源リサイクル

警備

- ◆施設警備
- ◆駐車場管理
- ◆交通・雑踏警備

建物清掃

- ◆日常清掃
- ◆定期清掃
- ◆浄化槽・貯水槽清掃

環境衛生

- ◆空気環境測定
- ◆水質検査
- ◆害虫駆除

練馬の大地
 おいしい作物は元気な土づくりから...
 弊社の資源リサイクルセンターにて学校給食残さをリサイクルし、良質の土壌改良材を精製しております。

総合ビルメンテナンス
株式会社 五十嵐商会

【本社】〒177-0032 東京都練馬区谷原6-24-8 TEL03(3922)7547 FAX03(3978)1533
<http://www.igarashisyukai.co.jp> 五十嵐商会 検索

PCBの処理期限までの全量廃棄を目指します
 PCBに関するあらゆる問題をワンストップで解決していきます

全数調査 選別調査 分析・運搬業務 申請サポート



解体や全数調査時に新たにPCB廃棄物が見つかる事例があります。
 調査漏れが不安な方はお気軽にご相談ください。

北九州事業エリアで
 処分期間後に発見された
 高濃度PCB廃棄物
196件
 (令和2年10月末現在)
 環境省 <http://www.env.go.jp/recycle/poly/confs/tekisei/28pcb.html>

KATO 加藤商事株式会社
<http://www.katosyoji.tokyo>
 未来の地球に持続可能な環境を創る企業

本社 〒189-0011 東京都東村山市恩多町1-12-3
 TEL: 042-392-1001 FAX: 042-394-1453
 赤坂営業所 〒107-0052 東京都港区赤坂4-4-14 未来環境創造ビル1F
 TEL: 03-6277-7187 FAX: 03-6277-7197

一般社団法人日本PCB
 全量廃棄促進協会 (JPTA) JPTA
 会員企業

2019年度 環境優良企業 (経済産業省主催)
 産業エキスパート
 認定番号 S-19-00038